



主な議案のあらまし

◆令和2年度吉川市一般会計
補正予算(第5号)

既定の歳入歳出に3億6984万7000円追加し、総額は320億1863万2000円となりました。

・予防接種事業

906万8000円

インフルエンザの流行と新型コロナウイルス感染症拡大が重なる危険を低減するため、中学生以下の市民を対象にインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行います。

・市民交流センターおあしす
等管理事業

369万5000円

コロナ禍における新生活様式に対応するため、市民交流センターおあしす内にWiFiを整備し、インターネット環境を整えることで、館内でリモートワークやリモート学習ができる環境を構築します。

― 討 論 ―

一般会計補正予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

【賛成】

岩田 京子議員

当補正予算の中心はコロナ対策。市民要望の多かった公施設や公園のトイレの洋式化・インフルエンザの助成金の拡大・おあしすの無線LANの工事・次年度予定されていた公園の前倒し整備。元々やる予定の事業にコロナ対策の交付金を充て、基金に蓄えた額・約3億円。これからコロナの影響は一段と厳しくなるだろう。吉川市の人々・経済活動の実情をしっかりとらえ、寄り添った支援を進める

備えと考え、賛成する。

◆令和2年度吉川市介護保険
特別会計補正予算(第1号)

包括的支援事業
194万4000円

市が購入する車両を地域に貸出、地域で自主的に行っている買い物などの生活支援の取り組みを推進します。

◆工事請負契約の締結について

・吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事(その2)の請負契約を締結します。
・都市計画道路越谷吉川線工事(上部工・護岸工)の請負契約を締結します。

◆財産の取得について

市内小中学校で児童・生徒教員用タブレット端末を購入します。

◆人事案件

・教育委員会委員
教育委員会委員の小林照男氏が令和2年9月30日をもって任期満了するため、再度任命することに同意しました。

7月臨時会概要

7月31日に行われた臨時会では、令和2年度吉川市一般会計補正予算及び令和2年度水道事業会計補正予算の2件について審議されました。

◆令和2年度吉川市一般会計
補正予算(第4号)

既定の歳入歳出に、それぞれ7億9213万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額は316億4878万5000円となりました。

「こんなことに使われます」

・新生児子育て応援商品券
給付事業
4844万3000円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、国の特別定額給付金の基準日以降(令和2年4月28日から12月31日)に生まれた新生児に対し、一人につき10万円の商品券の給付を行います。

・事業継続支援事業

8029万4000円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、売上高が前年度比20%減少した事業者に支援金を給付し、国・県の家賃支援の対象外の事業者に対しては賃貸に対する追加給付を行います。

・教育振興事業(小・中学校)

3億3054万8000円

国の公立学校情報機器整備費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、児童・生徒に1人1台のタブレット型端末を整備します。また、家庭学習用の通信機器としてモバイルルーターや、遠隔学習用配信機器としてPC用のカメラ・マイクを整備します。

◆水道事業会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対応として水道料金の減免を行うため、一般会計から3300万円の補助を受けました。